

スポーツ・文化芸術団体へのアンケート調査結果について

1 概要

- (1) 調査対象 町内スポーツ・文化芸術関係団体 合計 71 団体（個人を含む）
- (2) 調査期間 令和 6 年 6 月 1 日から 6 月 30 日まで
- (3) 調査項目 別紙 1 のとおり
- (4) 調査方法 郵送による配布・回収又は WEB 形式による回答
- (5) 回答数等 回答数 41 団体（郵送回答 19、WEB 回答 22）…回答率 58%

2 調査結果

- ・アンケート調査集計表 別紙のとおり

[各設問集計結果の概要]

**(問 1) 中学校部活動を休日から地域移行することで、本町においてどのようなメリット
あると考えますか**

- ・「教員の負担軽減につながること」の回答数が最も多かったが、「地域住民と中学生との関わりが増えること」が 2 番目の回答数となった（回答割合 25%）。
- ・地域と中学生との関わりを創出することにメリットを感じている団体も少なくないことが伺える。

**(問 2) 休日の中学校部活動の地域移行について本町における課題や心配となることは何
だと考えますか**

- ・受皿となる団体や指導者の確保という回答が多いが、各設問の回答数に大きな差はなく、全体的に課題が多いという認識を持たれている。

**(問 3) 国の方針や本町の実情を踏まえ、中学生にとって望ましい休日の活動についてど
のようにお考えですか**

- ・「中学生と町内各団体が同意のもとに受け入れ」という回答が最も多かったが、「地域移行は実現できないと思う」という回答も少なくはない。

(問 4) 地域移行の協力（受皿）団体となることについて、どのようにお考えですか

(問 5) 休日に協力（受皿）ことができる内容(競技・頻度等)についてお聞かせください

- ・「前向きに検討したい」「条件によっては検討可能」という回答が、合わせて 13 件。
→内、具体的な回答内容は資料 7 ページ参照。
- ・受入が検討できるスポーツ種目
→野球、バドミントン、空手、陸上競技、剣道…スポ少？
水泳、ソフトテニス…体育協会？
体力づくり・ニュースポーツ

- ・ スポ少をベースに（又はスポ少活動として）「バドミントン、空手、陸上競技、剣道」は個人種目として中学生の単位団入団希望者を受け入れる体制を検討できるかもしれない。
- ・ 野球も前向きな回答だったことから、野球スポ少や外部指導員と個別に協議、意見交換することも考えられる。

（問 6） 休日の指導(支援)する人として教職員を活用することについてどうお考えですか

- ・ 集計結果のとおり

（問 7） 条件とはどのようなことを想定されていますか

- ・ 「スタッフの確保」「自分たちにとって無理にならない範囲」という意見が多数。

（問 8） 困難な理由をお聞かせください

- ・ 集計結果のとおり

（問 9～問 12） 芸術文化団体に対する設問

- ・ 全体的に前向きな回答は少ないが「個人のボランティアとして」関心があるという回答もあった。
- ・ 文化サークルは主に高齢者の団体が多く、中学生との世代の差や事故発生時の対応が困難といった不安により消極的な意見が多い印象。

（問 13） 休日における中学生との活動場所についてどうお考えですか

- ・ 集計結果のとおり

（問 14） 部活動の地域移行について、どのような町の支援策があればよいとお考えですか

- ・ 集計結果のとおり
- ・ 満遍なく各支援策が必要との回答→その中でも会場使用料の減免、指導者・スタッフの待遇向上が多い回答であった。

**休日における中学校部活動の地域移行に関する
スポーツ・文化芸術団体へのアンケート調査 集計結果**

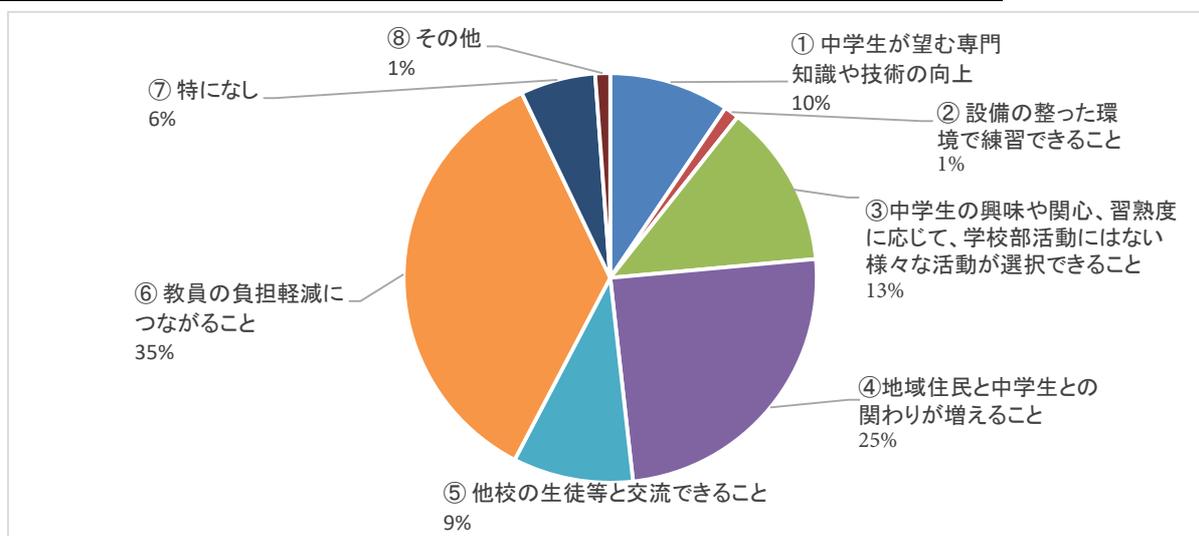
調査対象者数	調査回答数	回答率
71名	41回答	58%

※1…(★)が付いている設問は複数回答

※2…「割合」は各設問の回答総数を分母とした割合

**【問1】中学校部活動を休日から地域移行することで、本町において
どのようなメリットあると考えますか(★)**

	回答	回答数	割合
①	中学生が望む専門知識や技術の向上	8	9%
②	設備の整った環境で練習できること	1	1%
③	中学生の興味や関心、習熟度に応じて、学校部活動にはない様々な活動が選択できること	11	13%
④	地域住民と中学生との関わりが増えること	21	25%
⑤	他校の生徒等と交流できること	8	9%
⑥	教員の負担軽減につながる	30	35%
⑦	特になし	5	6%
⑧	その他	1	1%

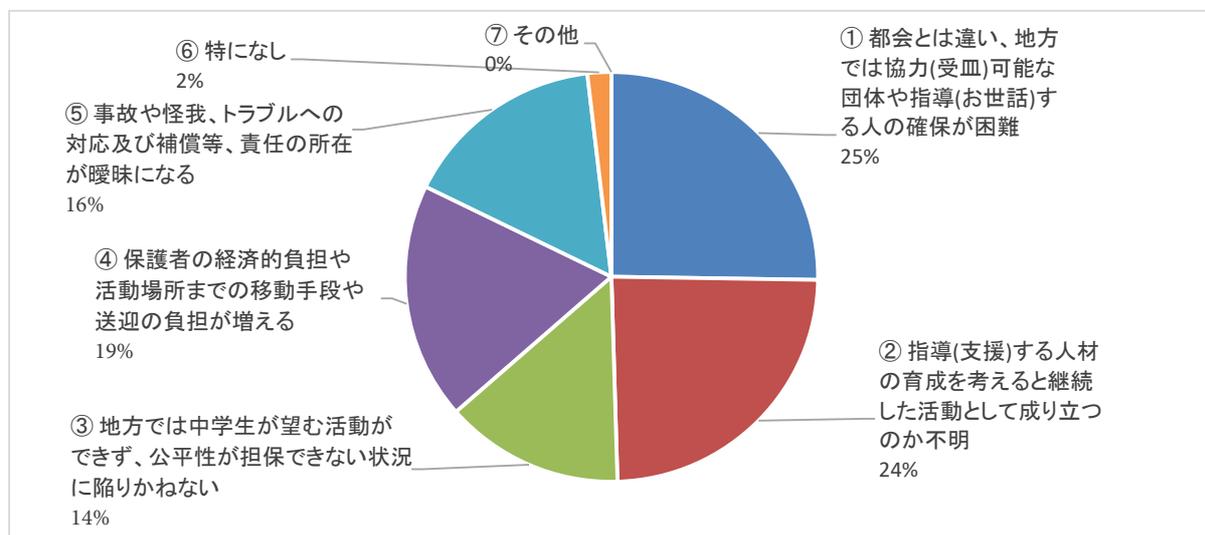


【その他意見】

三朝町においては少子化が加速するため、団体競技が成立しなくなる可能性が高い。地域移行するメリットとは？

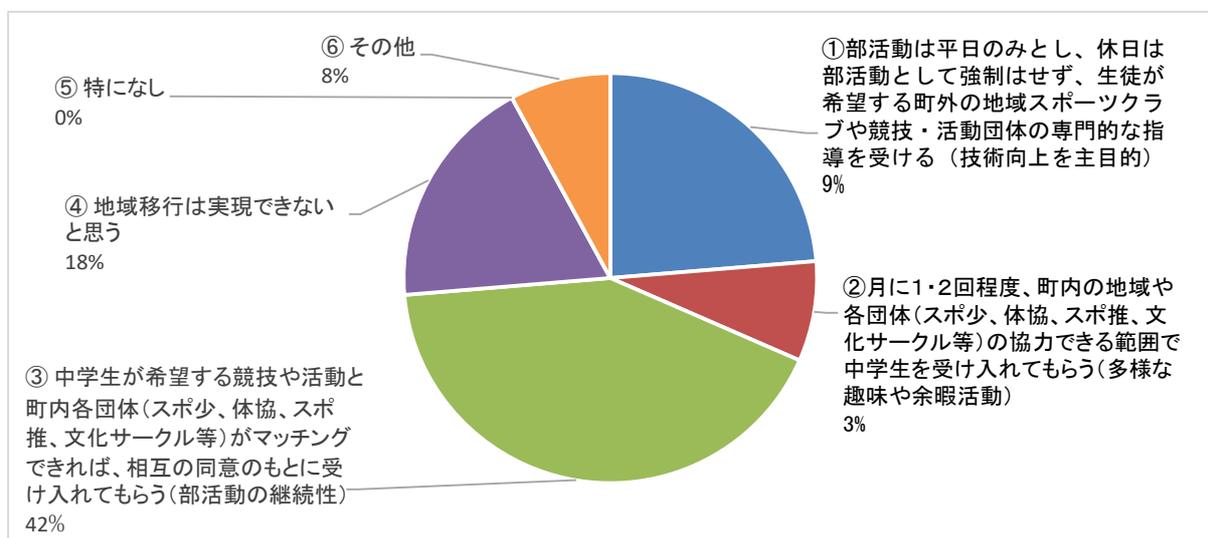
【問2】 休日の中学校部活動の地域移行について本町における課題や心配となることは何だと考えますか(★)

	回答	回答数	割合
①	都会とは違い、地方では協力(受皿)可能な団体や指導(お世話)する人の確保が困難	27	25%
②	指導(支援)する人材の育成を考えると継続した活動として成り立つのか不明	26	24%
③	地方では中学生が望む活動ができず、公平性が担保できない状況に陥りかねない	15	14%
④	保護者の経済的負担や活動場所までの移動手段や送迎の負担が増える	20	19%
⑤	事故や怪我、トラブルへの対応及び補償等、責任の所在が曖昧になる	17	16%
⑥	特になし	2	2%
⑦	その他	0	0%



**【問3】 国の方針や本町の実情を踏まえ、中学生にとって望ましい
休日の活動についてどのようにお考えですか**

	回答	回答数	割合
①	部活動は平日のみとし、休日は部活動として強制はせず、生徒が希望する町外の地域スポーツクラブや競技・活動団体の専門的な指導を受ける（技術向上を主目的）	9	24%
②	月に1・2回程度、町内の地域や各団体（スポ少、体協、スポ推、文化サークル等）の協力できる範囲で中学生を受け入れてもらう（多様な趣味や余暇活動）	3	8%
③	中学生が希望する競技や活動と町内各団体（スポ少、体協、スポ推、文化サークル等）がマッチングできれば、相互の同意のもとに受け入れてもらう（部活動の継続性）	16	42%
④	地域移行は実現できないと思う	7	18%
⑤	特になし	0	0%
⑥	その他	3	8%



【その他意見】

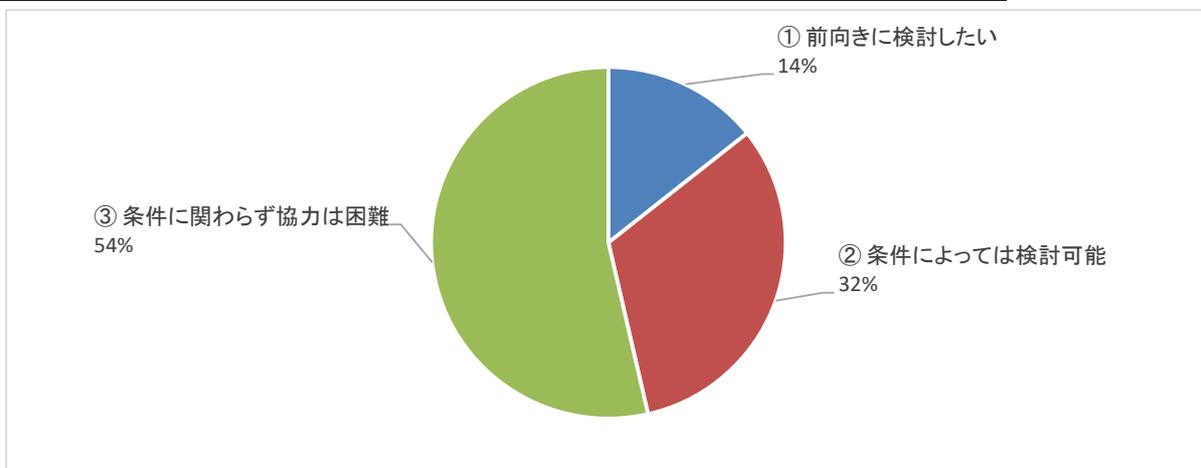
活動団体、指導者を町民のみにこだわらず、中学生の能力向上に寄与してもらえる人を積極的に導入してほしい。

そもそも中学生の部活動の目的によって変わってくるのではないか。

中学生の部活動ってなんだろう。

**【問4】地域移行の協力（受皿）団体となることについて、
どのようにお考えですか**

	回答	回答数	割合
①	前向きに検討したい	4	14%
②	条件によっては検討可能	9	32%
③	条件に関わらず協力は困難	15	54%



(問4で「前向きに検討したい」「条件によっては検討可能」と回答された方)

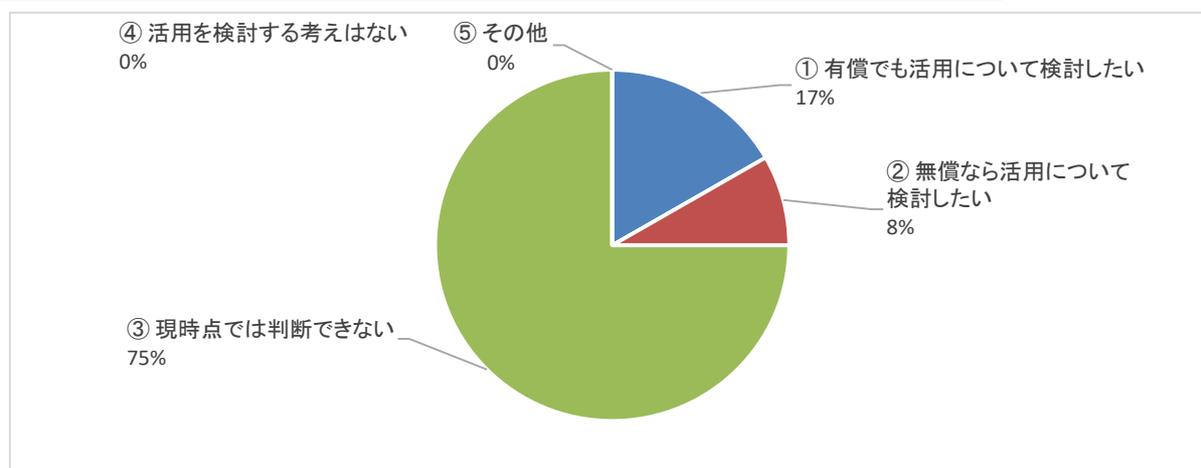
**【問5】休日に協力（受皿）ことができる内容（競技・頻度等）について
お聞かせください**

※別記1参照

(問4で「前向きに検討したい」「条件によっては検討可能」と回答された方)

**【問6】休日の指導（支援）する人として教職員を活用することについて
どうお考えですか**

	回答	回答数	割合
①	有償でも活用について検討したい	2	17%
②	無償なら活用について検討したい	1	8%
③	現時点では判断できない	9	75%
④	活用を検討する考えはない	0	0%
⑤	その他	0	0%



(問4で「前向きに検討したい」「条件によっては検討可能」と回答された方)

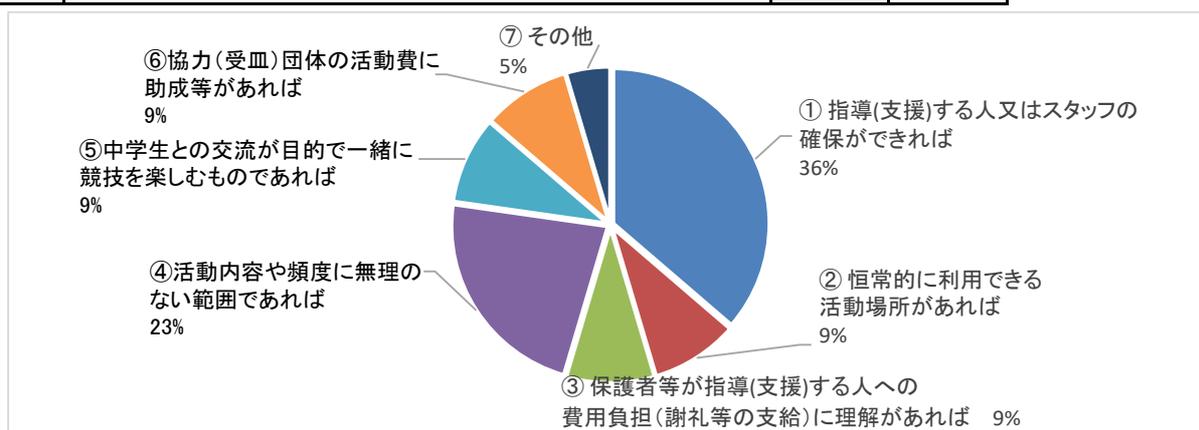
【問5】休日に協力(受皿)ことができる内容(競技・頻度等)についてお聞かせください

状況	競技(種目)・活動名	頻度	人数 ※指導(支援)を いだける方	その他(回答内容)
前向きに	野球	毎週	2～3名	
前向きに	野球		その他	頻度…無回答 人数…2～5名
前向きに	バドミントン	その他	2～3名	頻度…指導者の都合に合わせて
前向きに	空手	月に一回程度	2～3名	
条件によっては	陸上競技	毎週	1名	
条件によっては	陸上競技	毎週	2～3名	
条件によっては	陸上競技(長距離走)	隔週	2～3名	
条件によっては	剣道	毎週	2～3名	
条件によっては	水泳	隔週	2～3名	
条件によっては	ソフトテニス	その他		頻度…大会の無いとき 人数…無回答
条件によっては	体力づくり(筋力トレーニング等)やニュースポーツ体験でリラックスできる場の提供	月に一回程度	4～5名	個人的ボランティアとした場合、毎月は負担が大き い。2～3月に一度程度なら可能。
条件によっては	(回答なし)	その他	その他	頻度…大会スケジュールや時間等、必要に応じて 人数…競技指導は難しいと考えるが、一緒に活動する ことで中学生が学ぶ機会になる

(問4で「条件によっては検討可能」と回答された方)

【問7】条件とはどのようなことを想定されていますか(★)

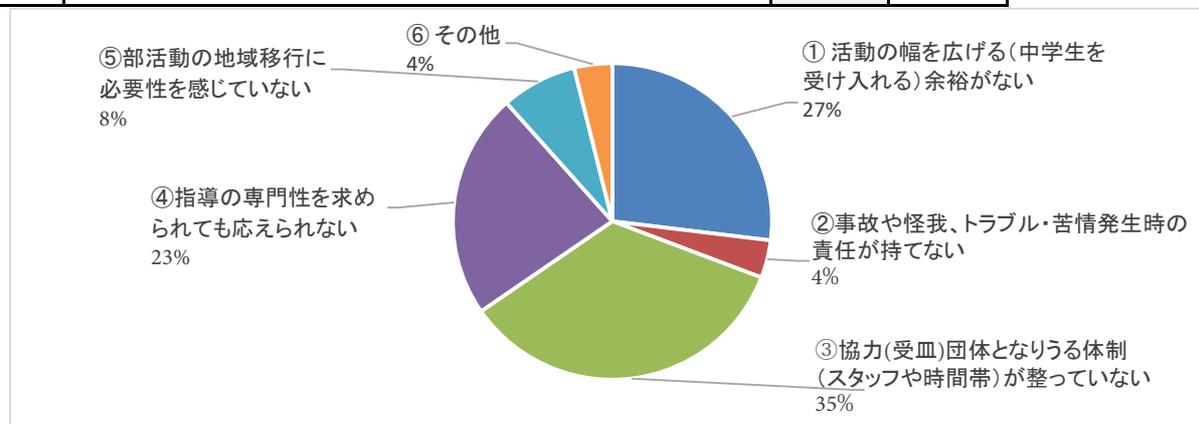
	回答	回答数	割合
①	指導(支援)する人又はスタッフの確保ができれば	8	36%
②	恒常的に利用できる活動場所があれば	2	9%
③	保護者等が指導(支援)する人への費用負担(謝礼等の支給)に理解があれば	2	9%
④	活動内容や頻度に無理のない範囲であれば	5	23%
⑤	中学生との交流が目的で一緒に競技を楽しむものであれば	2	9%
⑥	協力(受皿)団体の活動費に助成等があれば	2	9%
⑦	その他	1	5%



(問4で「条件に関わらず協力は困難」と回答された方)

【問8】困難な理由をお聞かせください(★)

	回答	回答数	割合
①	活動の幅を広げる(中学生を受け入れる)余裕がない	7	27%
②	事故や怪我、トラブル・苦情発生時の責任が持てない	1	4%
③	協力(受皿)団体となりうる体制(スタッフや時間帯)が整っていない	9	35%
④	指導の専門性を求められても応えられない	6	23%
⑤	部活動の地域移行に必要性を感じていない	2	8%
⑥	その他	1	4%

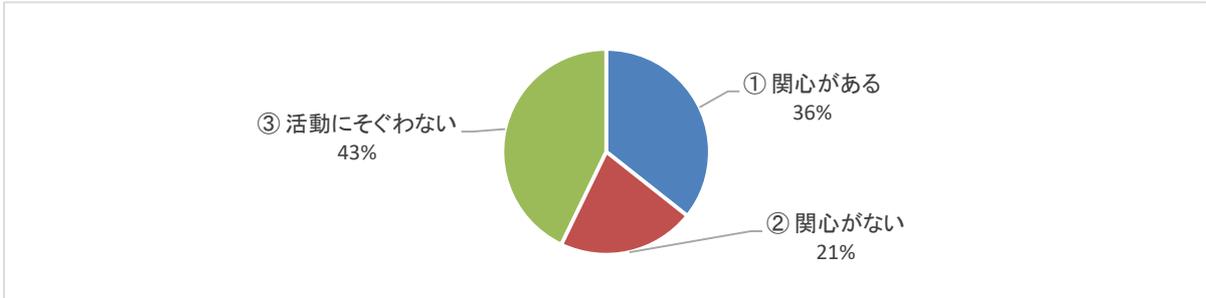


【その他意見】

詳しいことはよく分からないが、高齢者ばかりで無理と思われる。

【問9】 休日の趣味や余暇活動として中学生と関わる（一緒に文化芸術活動を楽しむ）ことについてどうお考えですか

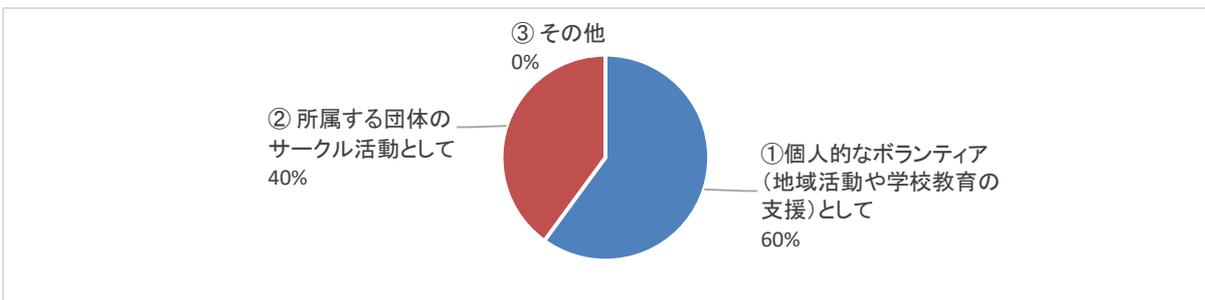
	回答	回答数	割合
①	関心がある	5	36%
②	関心がない	3	21%
③	活動にそぐわない	6	43%



(問9で「関心がある」と回答された方)

【問10】 どのような立場なら関わる（一緒に文化芸術活動を楽しむ）ことができると思いますか(★)

	回答	回答数	割合
①	個人的なボランティア（地域活動や学校教育の支援）として	3	60%
②	所属する団体のサークル活動として	2	40%
③	その他	0	0%



(問9で「関心がある」と回答された方)

【問11】 関わる（交流する）ことができる内容(活動・頻度等)についてお聞かせください

※別記2参照

(問9で「活動にそぐわない」と回答された方)

【問12】 その理由をお聞かせください

活動日が週一回、平日のみであるため協力が難しい

部活動としてするには、中学生と私たちのテンポが合わないと思う。

基本的に活動を平日・昼間に行っているため

我が同好会は活動時間が夜間であること。また仮に一緒に活動するとして送迎の問題や道中の事故発生時の補償、感謝料問題等を懸念する。

今の中学生が大人の言う事を素直に聞くかどうか。

中学生が入ることで、気を遣いすぎて活動がやりにくくなるのでは。

どこの施設を使用するにしても、中学生の移動手段は？

(本サークルの) 指導の先生が不在のため、経験がある人に相談しながら活動している現状。歳を重ね体力的、時間的にも難しい。

(問9で「関心がある」と回答された方)

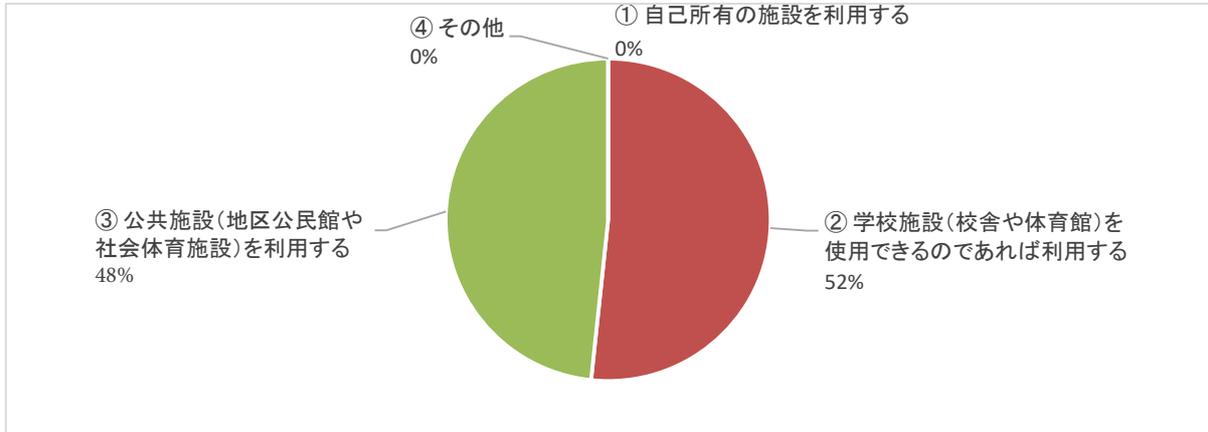
【問11】関わる(交流する)ことができる内容(活動・頻度等)についてお聞かせください

立場	頻度	活動内容	人数 ※指簿(支援)を いただける方	その他(回答内容)
個人的ボランティア	毎週	古典芸能	2～3名	人数は「3～4名」で回答
個人的ボランティア				頻度・内容・人数…無回答
所属サークル活動	その他			頻度…一緒に活動できる機会があれば、芸能文 化祭等に出演
所属サークル活動	月に一回程度	無回答		人数…無回答

～全ての団体が回答～

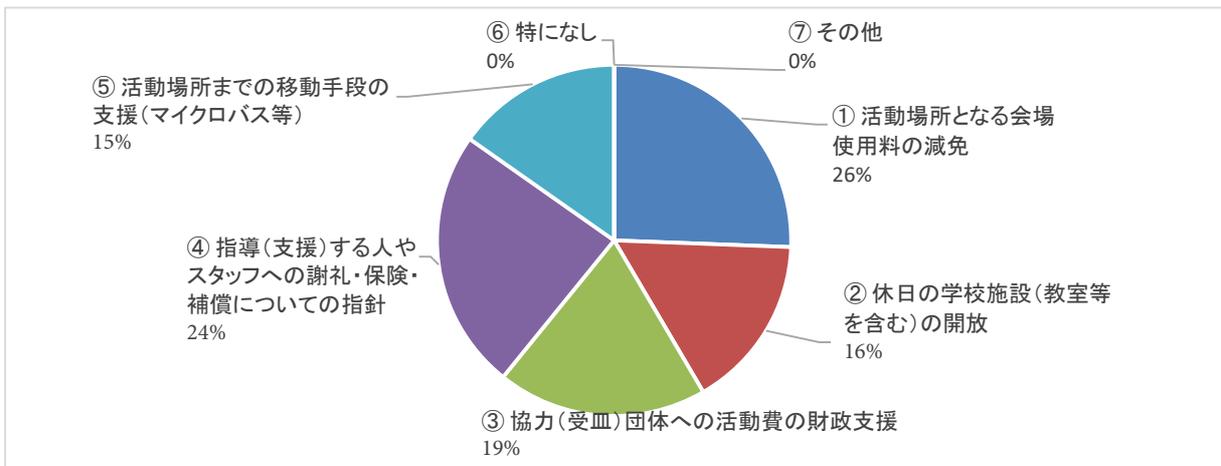
【問13】 休日における中学生との活動場所についてどうお考えですか(★)

	回答	回答数	割合
①	自己所有の施設を利用する	0	0%
②	学校施設（校舎や体育館）を使用できるのであれば利用する	31	52%
③	公共施設（地区公民館や社会体育施設）を利用する	29	48%
④	その他	0	0%



【問14】 部活動の地域移行について、どのような町の支援策があればよいとお考えですか(★)

	回答	回答数	割合
①	活動場所となる会場使用料の減免	32	26%
②	休日の学校施設（教室等を含む）の開放	20	16%
③	協力（受皿）団体への活動費の財政支援	24	19%
④	指導（支援）する人やスタッフへの謝礼・保険・補償についての指針	30	24%
⑤	活動場所までの移動手段の支援（マイクロバス等）	19	15%
⑥	特になし	0	0%
⑦	その他	0	0%



**【問15】「部活動の地域移行」についてご意見等ありましたら、
ご自由にお書きください**

部活動として地域が受け入れるのは課題が大きいと思う。部活動の枠を取っ払ったら受入れの枠が広がると思う。

会社員として就業しながらの指揮（指導）となると、個人的に簡単でないと思う。

指導者の体制をどのように継続させていくのかが課題である。指導者は資格を取る必要もあり核となる指導者の存在は不可欠。そして指導者や関係者の数はできるだけ多くあった方がいいので、保護者や先生の希望者による指導協力もいただきながらやっていくことが望ましいと思う。

地域移行のためには地域だけでなく家庭や学校も一緒になってやっていくことが必要で、ここでも学校、家庭、地域の連携が不可欠と思う。

どのような目的で部活動をするのか。方針が違えば平日部活動を管理される先生と地域の指導者の方向性、指導内容の違い等により、中学生が辛い思いをするリスクが無いとは言えない。安易に休日だけと思いがちだが、先生とプレー等の考え方の違い等、難しい面があると思われるその辺りも視野に入れ地域移行に向かって討議できたらいいと思う。

または、全く部活とは別の関わり方にするのも生徒の新たな可能性が発見できるかも。

部活動は、子どもの能力向上だけでなく、チームワークや、仲間づくりにも繋がり、それが学校生活にも関わっていると思う。

子ども達が充実した中学生時代が過ごせるように、部活動の地域移行も考えていけたらと思う。

地域移行が可能な部活から、移行していくのがよいと考える。

「剣道」は三朝中学校部活動として廃部になっている。地域移行により再び部活動として復活できるのか。

指導者の問題がある。誰がメインで指導するか、またメインの指導者に協力体制があるかということと、保護者や周りの人が悪く言って嫌な状況に陥ることがあり、心労や身体の不調が生じることがあると思う。そのような問題を解決しないと難しいと感じる。

野球に関しては、教員と外部指導者がうまく連携を取って活動できている。

休日の活動については保護者の協力も得ながら十分な練習ができている。

また、三朝町野球部のメンバーであったり、三朝町軟式野球連盟に所属している方など地域の協力をいただきながら活動している。

平日の練習時間が短くて満足な練習ができない事の方が難点だと感じることもある。

生徒数が減少し、部活動が一校でできなくなるのはどうしようもないことだが、地域（町内外）のクラブ等を利用して技術を高め、夢を叶えてあげてほしい。

経済的な面、送迎面での支援をお願いしたい。

問9で「関心がない」に○をつけたが、三朝中学校における部活動の現状が全く分からない。

6月9日付の日本海新聞で「少子化対応や教員の負担軽減の観点から部活動の在り方の見直しを進めている。2027年度から規模縮小のため全国中学校体育大会の9競技が取りやめ」と報じられていた。

三朝中の生徒、保護者にも同様のアンケートを取られたのか？

平日、休日の部活動の在り方

少子化が加速するため、市又は郡単位で公立のクラブを設立。

構成は単町の体育協会、スポ少から数人指導者を選んでもらう。

今まで各スポーツに携わっていた先生は交代で週2回くらい指導してもらう（4校が統合すれば指導教員は4人になる）。

先生と民間がタッグを組む案を提案する（当然、報酬制とする）。

地域移行の考えは良いが、現実には問題が多すぎる。

詳細はよく分からないが、部員の技量などは低下するのではないかと思う。